


特許・実用新案一覽

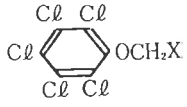
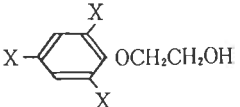
—昭和47年度—

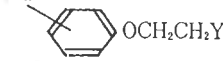
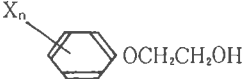
<日本特許> 39件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	630088 47. 1. 5	46-20148 46. 6. 5	41-73958 41.11.10	希薄流動層による可燃ガスと微分コークスの燃焼方法 (国井 大蔵, 功力 泰碩)	上方に向って断面積を大きくする反応器の底部とコークスを熱媒体とする循環流動層型熱分解プロセスの再生反応器の頂部とを連結し, 上部反応器内における粉粒状コークスが燃焼加熱に適する希薄流動層状態になりかつ下部反応器から上部反応器への放射伝熱量を少くするように設定された断面積をもつ連結部の周囲から空気を吹き込む事によって下部反応器から吹き上げる可燃ガスとこれに伴う微粉状コークスを燃焼し, 更に下部反応器から発生する可燃ガスに伴って上部反応器に入る粗粒コークスを加熱しこれを下部反応器に落下させることにより上部反応器内の発生熱量を下部反応器中に回収することを特徴とする希薄流動層による可燃ガスと微粉コークスの燃焼方法。
2	630130 47. 1. 7	46-20051 46. 6. 5	43-91870 43.12.14	ビニル化合物の重合方法 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 秋元 明)	トリアルキルほう素と四塩化炭素をモル比 1:0.2 ないし 1:8.0 に組合わせたものを触媒として, ビニルモノマーを重合または共重合することを特徴とする重合体の製造方法。
3	631857 47. 1.20	46-21938 46. 6.22	42-42182 42. 7. 1	難燃性プラスチック組成物 (井沢 正一, 藤井 一)	ポリエチレンポリアミン臭化水素酸塩または/およびエチレンジアミン臭化水素酸塩とポリオレフィンまたはエチレン-酢酸ビニル共重合体とからなる難燃性組成物。
4	632716 47. 1.28	46-22008 46. 6.22	44-18254 44. 3.10	無水マレイン酸の製造法 (溝口 順造)	正ブチレン類を酸素及び水蒸気を含む気体でもって気相下に触媒上で接触酸化して無水マレイン酸を製造するにあたり, モリブデン, ビスマス, バナジウム, 鉄及びコバルトの酸素化合物よりなる触媒を使用することを特徴とする無水マレイン酸の製造方法。
5	635150 47. 2.18	46-27521 46. 8.10	42-49651 42. 8. 2	ブテン類の重合方法 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二, 井沢 正一)	水分を含む粗塩化メチレンに含まれている水分の3倍モル量以上の塩化アルミニウム共存下, 45時間以上熟成させて得た塩化アルミニウム-塩化メチレン触媒溶液を用いることを特徴とするブテン類の重合方法。
6	641638 47. 4.11	46-34119 46.10. 6	43-10122 43. 2.19	除草剤 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	一般式 $(\text{CH}_3)_n$  $\text{OCH}_2\text{CH}_2\text{OH}$ (ただし, nは1または2を示す) で表わされるメチルあるいはジメチルフェノキシエタノールを有効成分とし, その一種又は二種以上よりなることを特徴とする除草剤。
7	642785 47. 4.22	46-35874 46.10.21	43-16193 43. 3.14	土壌燻蒸組成物 (角田 博, 馬淵 孝幸, 戸部 敬哉, 竹原 正彦)	クロルピクリン1重量部に対し 0.4~4重量部の割合の二臭化エチレンを混合したものを主要活性成分として含有することを特徴とする土壌燻蒸組成物。

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
8	645341 47. 5.22	46-33213 46. 9.29	44-97012 44.12. 3	塩化水素ガス中の微量フッ素分の除去法 (大槻 進, 内田 侃一, 根塚 伸健)	HF, SiF ₄ , H ₂ SiF ₆ 等のフッ化物を含有する塩化水素ガスより該フッ化物を除去するにあたり, アルカリ金属の塩酸塩, 硫酸塩のごとき塩類およびアルカリ土類金属の塩酸塩, 硫酸塩のごとき塩類の少なくとも1種を含有せしめたシリカゲル充填層に該塩化水素ガスを通ずることを特徴とする微量フッ素分の除去方法。
9	645340 47. 5.22	46-38975 46.11.16	42-83462 42.12.26	エチレンの重合方法 (井沢 正一, 吉田 敏郎, 新原 英雄)	(1) RAIX ₂ (但し, Rは炭化水素基, Xはハロゲン) で表わされるモノオルガノアルミニウムジハライド, (2) 四価のハロゲン化チタン又は四価のハロゲン化チタン及びモノアルコキシトリハロゲン化チタン, (3) 三員環ないし六員環の環状エーテルよりなり, 環状エーテル対モノオルガノアルミニウムジハライドのモル比は 0.1~1.0 である触媒とエチレンを接触させることを特徴とするエチレンの重合方法。
10	646281 47. 5.30	46-37670 46.11. 5	42-84907 42.12.29	難燃化されたポリエチレン系樹脂組成物 (井沢 正一, 藤井 一)	エチレン-酢酸ビニル共重合体およびポリエチレンから選ばれた重合体の一種とクレゾール臭化物とからなる難燃性重合体組成物。
11	647874 47. 6. 9	46-40251 46.11.27	41-61159 41. 9.16	エチレンのオキシン塩素化方法 (脇山 聡, 内田 侃一)	エチレン, 塩化水素および空気または酸素の混合ガスを用いて, 1・2-ジクロロエタンを製造するオキシン塩素化反応をステンレスなどの鉄系材質よりなる反応器を用いて行うにあたり, 銅, ナトリウム, マグネシウムの塩よりなり, 各々の原子比が銅1に対し, ナトリウム0.2~0.7, マグネシウム0.3~1.5なる組成を有するものを不活性多孔質担体に担持させた触媒を使用し, 反応を220~300°Cの温度範囲で行うことを特徴とするエチレンのオキシン塩素化方法
12	648691 47. 6.21	46-18244 46. 5.21	42-18279 42. 3.25	陽極酸化アルミニウム系金属の無機着色法 (森重 克己)	陽極酸化したアルミニウム系金属を, アルカリ水溶液からなる第一浴と, クロム酸系化合物および水酸化ベリリウムまたはベリリウム塩を含むアルカリ性水溶液からなる第二浴とで処理することを特徴とする陽極酸化アルミニウム系金属の無機着色法。
13	648692 47. 6.21	46-18245 46. 5.21	42-18280 42. 3.25	陽極酸化アルミニウム系金属の無機着色法 (森重 克己)	陽極酸化したアルミニウム系金属を, これを不動態化しない希硫酸からなる第一浴と, クロム酸系化合物, ヘキサシアノ鉄酸アルカリ, 水酸化ベリリウムまたはベリリウム塩およびリン酸を主成分とする第二浴とで処理することを特徴とする陽極酸化アルミニウム系金属の無機着色法。
14	648693 47. 6.21	46-18246 46. 5.21	42-18281 42. 3.25	陽極酸化アルミニウム系金属の無機着色法 (森重 克己)	陽極酸化したアルミニウム系金属を, これを不動態化しない希硫酸水溶液からなる第一浴と過マンガン酸アルカリ, 銅塩および水酸化ベリリウムまたはベリリウム塩を含む水溶液からなる第二浴とで処理することを特徴とする陽極酸化アルミニウム系金属の無機着色法。
15	648694 47. 6.21	46-3991 46. 1.30	42-78881 42.12. 9	クロロブレン共重合体の製造方法 (井沢 正一, 清水 明彦, 鳴井 衛, 弘中 武士)	クロロブレン 100 部と1-クロロブタジエン-1・3, 1~30部とアクリル酸エステルもしくはメタクリル酸エステル 1~30部を共重合せしめることを特徴とする良好な低温特性を有するクロロブレン共重合体の製造方法。

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
16	648695 47. 6. 21 (溝口 順造)	46-41289 46.12. 6	44-8958 44. 2. 5	アクリロニトリルの製造方法	アクロレインをアンモニアの共存下に酸素含有ガスと気相下に触媒上で接触反応させてアクリロニトリルを製造するに当り、モリブデン、ビスマス、鉄およびコバルトの酸素化合物よりなりかつこれら各元素の原子百分率が Mo 40.0~67.6%, Bi 1.9~21.7%, Fe 1.6~6.5% および Co 21.0~48.1% である新触媒を使用することを特徴とするアクリロニトリルの製造方法。
17	651098 47. 7. 8 (井沢 正一, 吉田 敏郎, 藤田 宜宏)	47-607 47. 1. 8	42-32981 42. 5. 24	1-ブテン, 1.3-ブタジエン共重合体の製造方法	ナフサ分解によって得られたブテン-ブタン-ブタジエン類混合物を原料とし, (1)トリアルキルアルミニウム, (2)三塩化チタンの単一体または $TiCl_3 \cdot \frac{1}{2} AlCl_3$ の組成をもつ物質の二成分を(1)対(2)のモル比が 0.3: 1 以上の割合いで反応させたものを触媒とし, 不活性溶媒の存在下または不存在下で1-ブテンおよび 1.3-ブタジエンを選択的に重合させることを特徴とする共重合体の製造方法。
18	652301 47. 7. 17 (井沢 正一, 小野 勲, 飯国 鉄男)	47-1450 47. 1. 14	38-39330 39. 6. 18	アクロレンの製造法	酸化バナジウム, 酸化ビスマス及び酸化モリブデンよりなる触媒あるいは酸化バナジウム, 酸化ビスマス及び酸化タングステンよりなる触媒を用いて, プロピレンを酸素あるいは酸素を含む気体によって接触酸化してアクロレンを合成するにあたり, 上記触媒酸化物の組成が V_2O_5 2~40モル%, Bi_2O_5 16~50モル%, MoO_3 20~83モル%, あるいは V_2O_5 2~40モル%, Bi_2O_5 16~50モル%, WO_5 20~83モル%の範囲にある触媒を用いることを特徴とするアクロレンの製造法。
19	652302 47. 7. 17 (井沢 正一, 山田 静夫, 井上 則男)	46-43366 46.12.22	42-2510 42. 1. 13	n-ブテンの製法	トリアルキルアルミニウムまたは/およびジアルキルアルミニウムハイドライドとアルコキシチタニウムアセチルアセトナートとからなる二成分系触媒にエチレンを接触させることを特徴とする n-ブテン特に 1-ブテンの製造法。
20	652303 47. 7. 17 (井沢 正一, 吉田 敏郎, 鈴木 裕二)	46-42777 46.12.17	42-11052 42. 2. 21	エチレンの重合方法	モノアルキルアルミニウムジハライド(アルキルは直鎖, 分岐, 閉環のいずれでもよく, 又アリル基で置換されてもよい)と四ハロゲン化チタンと前記のモノアルキルアルミニウムジハライド 1モルに対し 1.5モル以下のアルキルビニルエーテル類とを組合わせてなる触媒に, エチレンまたはエチレン含有オレフィンを接触させることを特徴とするエチレンまたはエチレンを主体とするオレフィンの重合方法。
21	652304 47. 7. 17 (迫村 寿男, 木佐木 尚, 多田 孝, 真淵 俊介)	46-42885 46.12.18	43-43125 43. 6. 21	ジクロロブテンより 1・4-ジアセトキシ-2-ブテンの製造法	3・4-ジクロロ-1-ブテン又はこれと 1・4-ジクロロ-2-ブテンとの混合物を酢酸のアルカリ塩と反応せしめて酢酸エステルを製造するにあたり銅及び銅の化合物から選ばれた少なくとも 1種を添加することにより 1・4-ジアセトキシ-2-ブテンの製造法。
22	656197 47. 8. 14 (井沢 正一, 山田 静夫, 小笠谷 一郎)	47-1444 47. 1. 14	42-45586 42. 7. 15	α -オレフィンの二量および共二量法	一般式 R_3Al または/および R_2AlH で表わされる有機アルミニウム化合物(ただし R は炭素数 2~4 のアルキル基)と一般式 $Ti(OR)_3$ であらわされるトリアルキルチタネート(ただし, R は炭素数 2~4 のアルキル基)からなる二成分系触媒に, エチ

№	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
					レンまたはプロピレンあるいはエチレンとプロピレンを接触せしめることを特徴とするエチレンまたはプロピレンの二量化法およびエチレンとプロピレンの共二量化法。
23	656207 47. 8.16	47-1445 47. 1.14	42-67333 42.10.19	α -オレフィンの二量化法 (井沢 正一, 山田 静夫, 小笠谷一郎)	一般式 R_3Al または R_2AlH であらわされる有機アルミニウム化合物 (ただし R は炭素数 2~6 のアルキル基) と一般式 $Ti(OAr)_4$ であらわされるアрилチタネート類 (但し Ar は $-C_6H_5$ をはじめ $-C_6H_4 \cdot CH_3$, $-C_6H_4 \cdot Cl$, $-C_6H_4 \cdot NO_2$ で示されるアрил (aryl) 基またはその誘導体) からなる触媒に α -オレフィンと接触せしめることを特徴とする α -オレフィンの二量化または共二量化法。
24	658088 47. 8.31	47-7909 47. 3. 6	43-10121 43. 2.19	稲もんがれ病防除剤 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	一般式  (ただし, X はハロゲン, SCN を表わす) にて示される化合物を有効成分とし, その一種または二種以上からなることを特徴とする稲もんがれ病防除剤。
25	658096 47. 8.31	47-8078 47. 3. 8	43-38681 43. 6. 7	セメント原料スラリーの減粘法 (兼石 龍磨, 後藤友三郎)	湿式法セメント製造工程におけるセメント原料スラリーに醗酵廃液を添加して該スラリーの粘度を低減させる方法。
26	658103 47. 9. 7	47-7474 47. 3. 2	43-74697 43.10.15	農業用殺菌剤 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	一般式  (ただし, X は Cl , Br のハロゲンを表わす) にて示される化合物を有効成分とし, その一種または二種以上よりなることを特徴とする農業用殺菌剤。
27	659595 47. 9.19	44-12723 44. 6. 9	42-31994 42. 5.20	エチレンポリアミンの製造方法 (脇山 聡, 榎田 吉信)	二塩化エタンと高濃度アンモニア水溶液を加圧下に反応せしめて, エチレンポリアミン類を製造する方法において, 2段以上の多段の完全混合型反応器と最終段にピストン流型反応器を組合わせた複合型反応器を使用し, 原料中にエチレンジアミン, ジエチレントリアミン, トリエチレントトラミンを少くとも1種類加えて反応させることを特徴とするエチレンポリアミンの製造方法。
28	659611 47. 9.19	47-8620 47. 3.13	43-85481 43.11.21	塩化ビニルグラフト重合体の製法 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 裕二, 高本 邦夫)	エチレン成分82重量%以上からなるエチレン-酢酸ビニル共重合体または/およびエチレン-アクリル酸エステル共重合体を塩素化して得られる塩素含有量30~40重量%の塩素化共重合体に塩化ビニル単量体をグラフト重合させ塩素化共重合体5~15重量%を含むグラフト重合体を得ることを特徴とする塩化ビニルグラフト重合体の製法。
29	659612 47. 9.19	47-8056 47. 3. 8	43-87955 43.11.30	シクロオクタジエンの合成法 (小野 勲, 佐々木博朗, 田中 哲夫)	(1)有機第一ニッケル化合物, (2)トリアルキルアルミニウムおよび(3)一般式 $R-O-P=N-Ar$ (R はアルキル基またはアシル基を, Ar はアシル基を示す) で示されるイミノホスファイトよりなる触媒を用いてブタジエンから1,5-シクロオクタジエンを合成する方法。

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
30	661518 47.10.5 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	47-10077 47.3.25	43-52457 43.7.26	農園芸用殺菌剤	一般式 X_n  (ただし, Yは Br, Cl等のハロゲンを, Xは Cl, Brを, nは3または5を表わす) にて示される化合物を有効成分とし, その一種または二種以上よりなることを特徴とする農園芸用殺菌剤。
31	661641 47.10.5 (迫村 寿男, 木佐木 尚, 真淵 俊介, 堤 幸弘, 多田 孝)	47-10685 47.3.30	43-43749 43.6.24	ジクロロブテンより2-ブテン-1・4-ジオールの製造法	1・4-ジクロロ-2-ブテン又はブタジエンの気相塩素化により得られるジクロロブテン混合物から2-ブテン1・4-ジオールを製造するにあたり, ナトリウム, カリウム, カルシウムなどの水に可溶性のギ酸塩を用いて水の存在下に反応せしめることを特徴とする2-ブテン-1・4-ジオールの製造法。
32	662981 47.10.18 (中谷 治夫, 加藤 茂昭, 松木 忠司)	47-13303 47.4.22	42-49893 42.8.3	クロロブレンゴム組成物	クロロブレンゴム40~95部とブタジエングラフトポリエチレン60~5部よりなる組成物を金属酸化物系加硫剤で加硫した弾性体組成物。
33	663377 47.10.23 (迫村 寿男, 入江 邦博, 井上 実, 高尾 忠行)	47-14472 47.4.28	44-21272 44.3.22	水稲作物の雑草駆除用組成物	ペンタクロロフェノールまたはそのアルカリ塩と一般式 X_n  (ただし, Xは Cl または CH ₃ を表わし, XがClの場合nは1~5の整数, XがCH ₃ の場合nは1または2の整数であり, Cl CH ₃ とは同時に含まない) とからなる置換フェノキシエタノールの1種または2種以上を混合することを特徴とする水稲と共存する有害雑草を駆除するに適した雑草駆除用組成物。
34	663834 47.10.26 (井本利一郎, 迫村 寿男, 菊地光雄)	45-2646 45.1.29	41-71389 41.10.31	チタン含有リン酸よりチタンを除去する方法	不純物としてチタンを含有する不純リン酸に脂肪族アルコールを溶剤としてリン酸を抽出する際に該不純リン酸中のチタン含量(TiO ₂ 換算)に対して重量比で20以上の3価の鉄イオンを共存せしめつつ抽出をおこないチタンを溶剤相に移行し難くすることを特徴とするチタン含有リン酸中のチタンの除去法。
35	663839 47.10.26 (井沢 正一, 清水 明彦, 紀 隆之, 鳴井 衛, 弘中 武士)	46-34106 46.10.6	43-4525 43.1.25	クロロブレン共重合体の製造法	スチレン・ユニットとアクリロニトリル・ユニットを次の関係式 $St > 0.2$ $0.2 < AN < 3.0$ $0.7 - AN < St < 4.0 - 1.7AN$ (ただし, St, AN はそれぞれスチレンユニット, アクリロニトリル・ユニットの全重合体に対する重量百分率を示す) と満足する組成範囲で含むクロロブレンの三元共重合体を30~65°Cで重合することを特徴とする加工性および性質優秀なる耐寒性クロロブレン共重合体の製造法。
36	664273 47.10.28 (小野 勲, 飯国 鉄男, 溝口 順造)	47-14204 47.4.27	44-71990 44.9.12	アクロレインおよびアクリル酸の製造法	プロピレンを酸素および水蒸気を含有する気体でもって気相下に触媒上で接触酸化してアクロレインおよびアクリル酸を製造するに当り, モリブデン, コバルト, 鉄, テルルおよびリンの酸化物よりなり, かつ, これらの各元素の原子百分率が Mo 38.4~

№	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
37	665600 47.11.8 (迫村 寿男, 清水 明彦, 橋本 勉, 喜多 篤, 鳴井 衛, 木戸 士聰)	47-14452 47.4.28	44-36159 44.5.13	クロロプレン重合体の製造方法	67.5%, Co 22.2~52.6%, Fe 1.6~6.5%, Te 0.8~6.4% および P 0.8~12.0% である5成分系触媒を使用することを特徴とするアクロレインおよびアクリル酸の製造法。 (1)メルカプタン, ジスルフィド, ハロゲン化炭化水素, アゾチオエーテル等の重合度調節剤の1種0.05~5.0(重量)%と(2)トリフェニルホウ素0.01~2(重量)%の存在下でラジカル開始剤によりクロロプレン単独またはそれと共重合可能なモノマーを重合せしめ溶媒可溶性のクロロプレン重合体を高転化率で製造する方法。
38	669337 47.12.19 (齊藤 茂助)	47-19108 47.6.1	44-34996 44.5.6	熱可塑性樹脂積層体の製造方法	少なくとも2個以上の押出機の先端に1つの口金を取り付け, 口金内にはそれぞれ押出機に連通する2個以上の樹脂通路を設け, 上記樹脂通路は, 何れも口金内を進行するにつれて筒状の間隙を形成するに至り, しかも上記筒状間隙は互に同心状に形成されているものとし, また上記筒状間隙は何れも口金内において外方に向い, 次いで反転し, そのうち口金外面の互に近接した位置において開口するものとし, また上記口金の外方には円環状の蕊体を設け, かくして, 上記押出機から供給された各別の樹脂を上記口金の間隙から同心状の筒状体として各別に連続的に押し出し, 押出された筒状体を何れも上記蕊体に接するよう進行せしめ, 次いで蕊体に沿ってその進行方向を反転せしめ, これによって各別の筒状体を互に密接せしめ, 蕊体上には冷却用液体を貯溜せしめて, ここで互に密接した筒状体が冷却用液体に接触して急冷されることを特徴とする熱可塑性樹脂積層体の製造方法。
39	670266 47.12.22 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 藤田 宜宏, 新原 英雄)	47-19698 47.6.5	44-20098 44.3.18	耐衝撃性塩化ビニル重合体の製造方法	塩化ビニル単量体或いはこれと共重合し得る単量体との混合物にテトラヒドロフラン高重合体或いはこれとの共重合体を溶解させ, これに重合開始剤を加えて塩化ビニルを重合させ, 全重合物中のテトラヒドロフラン重合体含量を1ないし15重量とすることを特徴とする耐衝撃性塩化ビニル重合体の製造方法。

＜実 用 新 案＞ 2件

1	950239 47.1.6 (石田 正明, 明石 忠夫, 関口昭太郎)	46-12711 46.5.6	41-67360 41.7.16	インフレーション法によるプラスチックフィルム成形機におけるエアーリング	インフレーション法によるプラスチックフィルムの成形機に於いて, 空気吹出口の内側に多数の小孔ないしスリットをもった空気分散筒を備え, 且つ, ダイに直接又は間接に密着せしめたことを特徴とするエアーリング。
2	986360 47.12.9 (西田 清人)	47-14795 47.5.26	41-13683 41.2.16	蒸留塔ヘッド	冷却部(C)の下部より斜め下方に延びる蒸留塔(A)に連絡される気化物通路(B)と同じく冷却部(C)の下部より下方に延びる凝縮液通路(D)を備え且つ留出液受器を有する蒸留塔ヘッドにおいて, 該凝縮液通路(D)の下部より蒸留塔(A)へ降状に延びる還流通路(F)及び受器側へ降状に延びる留出液通路(G)を分岐せしめ, この分岐部に控溜面に前記通路(F)及び(G)の各開口部を前記通路(D)の開口部を経て連絡しうる両端に向い漸次浅くなる如きV字型の先端形状を有する円周溝(H)を有する還流比調節用滑栓(E)を装着したことを特徴とする蒸留塔ヘッド。

<米 国 特 許> 9 件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	366794 '72. 5. 30 (大槻 進, 宮之原 勲)		823181 '69. 5. 8	Stabilization of Acrylic Acid or Esters thereof	アクリル酸又はそのエステルを含む系の蒸留において重合防止剤としてヒドロキノン, フェノール及び空気(又は酸素)を各々 50 ppm 以上, 200 ppm 以上及び 1% (0.2%) 以上共用することを特徴とする。
2	3686261 '72. 8. 22 (迫村 寿男, 清水 明彦, 森 忠洋)		84950 '70.10.28	Process for Recovering Acrylonitrile in Chloroprene Monomer	アクロレイン又はメタクロレインからなる系を気相接触酸化してアクリル酸又はメタクリル酸を有利に合成するに当り, 酸化モリブデンと酸化バナジウムを主な触媒組成物として含有し, かつ有機酸類, アルコール類, エステル類, キノン類の 1 種もしくは 1 種以上を添加して 330~430°C の温度内において熱処理してえられる酸化触媒を用いることを特徴とする。
3	3686350 '72. 8. 22 (小野 勲, 山田 静夫, 阿部 裕之, 田子 和夫)		42590 '70. 6. 1	Process for Dimerization or Co-dimerization of α -olefin	一般式 R_3Al および R_2AlH であらわされる有機アルミニウム化合物(ただし, Rは炭素数 2~6 のアルキル基)より選ばれた少なくとも一種と, 一般式 $Ti(OR)_4$ であらわされるアルキルチタネート類(ただし, Rはアルキル基, フェニル, 置換フェニル基またはそれらの誘導体を表わし, 置換フェニル基としてはメチル, プチル, またはフェニル置換のフェニル基等を示す)より選ばれた少くとも一種と, 一般式 $(R_1Z_1)(R_2Z_2)(R_3Z_3)P$, $R_1R_2R_3P$ で示されるホスファイト型化合物, ホスフィン型化合物(ここで $R_1R_2R_3$ は, アルキル, アリル, アルキルアリル基, それらの誘導体または水素原子を示し, $Z_1\sim Z_3$ は酸素原子または/および硫黄原子を示す)およびホスフィンのアルキルエステル型化合物より選ばれた少なくとも一種の燐化合物の触媒系に α -オレフィンを接触させること。
4	3674651 '72. 7. 4 (大槻 進, 堀 恭一, 宮之原 勲)		45213 '70. 6. 10	Polymerization Inhibition of Acrylic acid	アクリル酸を含む系の蒸留に於いて重合防止剤として, (1)ジフェニルアミン或いはその誘導体と空気又は酸素を共用する。 (2)ジフェニルアミンあるいはその誘導体の少なくとも一種とベンゾキノンあるいはヒドロキノンモノメチルエーテルおよび空気(又は酸素)を共用する。 ことを特徴とするアクリル酸の蒸留における安定化法。
5	3669944 '72. 6. 13 (迫村 寿男, 紀 隆之, 清水 明彦, 喜多 篤)		63947 '70. 8. 4	Process for Producing a Chloroprene Copolymer	少なくとも一成分として, アクリロニトリルを含むクロロプレン共重合体の製造に際し, その分子量調節に少なくとも一個の臭素原子で置換されたメタン, エタンまたはそれらの塩化物の少なくとも一種 0.1~20.0重量部を存在せしめてラジカル開始剤により重合法を行うことを特徴とするクロロプレンゴムの製造法。
6	3671577 '72. 6. 20 (小野 勲, 下村 清一, 深堀建太郎)		19509 '70. 3. 13	Process for Producing 1,4-Diacyloxy-2-butene	ブタジエン, C_8 以下の脂肪族モノカルボン酸および酸素を含む混合ガスをパラジウム, イリジウム, 白金, ロジウムおよびルテニウム金属の少なくとも一種またはこれらの金属のカルボン酸塩, あるいは

№	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
7	369465 '72.10.3 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 藤田 宣宏, 新原 英雄)		19502 '70.3.13	A Method of Preparing High Impact Strength Vinyl Chloride Polymer	無機酸塩を触媒として充填した反応層で気相流通反応を行わせて, 一般式 $\begin{array}{ccccccc} & \text{H} & \text{H} & \text{H} & \text{H} & & \\ & & & & & & \\ \text{H} & -\text{C} & -\text{C} & =\text{C} & -\text{C} & -\text{H} & \\ & & & & & & \\ \text{R}_1 & -\text{C} & -\text{O} & & \text{O} & -\text{C} & -\text{R}_2 \\ & & & & & & \\ & \text{O} & & & & \text{O} & \end{array}$ で示されるような1・4-ジアシルオキシ-2-ブテン類を製造する方法。 塩化ビニル単量体或いはこれと共重合しうる単量体との混合物にテトラヒドロフラン高重合体或いはこれとの共重合体を溶解させ, これに重合開始剤を加えて, 塩化ビニルを重合させ, 全重合物中のテトラヒドロフラン重合体含量を1ないし15重量とすることを特徴とする耐衝撃性塩化ビニル重合体の製造方法。
8	3694465 '72.9.26 (木佐木 尚, 真淵 俊介, 水野 俊勝)		63024 '70.8.11	Method for Concentration of Aqueous Tetrahydrofuran Solutions	含水テトラヒドロフラン(含水THF)より無水THFを製造するにあたり, アルカリ金属, 水酸化物の水溶液と該含水THFを接触させ水の抽出を行い, 水-THF系の共沸混合物組成よりも更に, THF濃度の高い混合物を製造する方法。
9	3689582 '72.9.5 (脇山 聰, 堀 恭一)		748322 '68.7.29	Process for recovering dichloroethane in oxychlorination process	酸素源として空気を用いるエチレンのオキシン塩素化法において, 生成ガスを冷却して大部分の二塩化エタンを取得したのち不活性ガスに伴われる二塩化エタンを回収するに当り沸点範囲が135~190°Cの間にあるアルキルベンゼンの1種又は2種以上の混合物に吸収させ, この吸収液を蒸留することにより二塩化エタンを分離することを特徴とする二塩化エタンの回収方法。

<英国特許> 10件

1	1247769 '72.1.26 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二, 高本 邦夫)	1247769 '71.9.29	56757/69 '69.11.20	Novel vinyl chloride copolymers and process for their preparation	エチレン-酢酸ビニル共重合体または/及びエチレン-アクリル酸エステル共重合体の塩素化物に塩化ビニル単量体をグラフト重合させることを特徴とする塩化ビニルグラフト重合体の製造方法。
2	1251737 '72.2.23 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 秋元 明)	1251737 '71.10.27	60799/69 '69.12.12	Process for Polymerizing Vinyl Compounds	トリアルキルほう素と四塩化炭素をモル比1:0.2~1:8.0に組合わせたものを触媒として, ビニルモノマーを重合又は共重合することを特徴とする。
3	1255726 '72.3.29 (迫村 寿男, 木佐木 尚, 真淵 俊介, 梶 幸弘, 多田 孝)	1255726 '71.12.1	31328/69 '69.6.20	A process for preparing 2-butene-1, 4-diol from dichlorobutenes	1・4-ジクロロ-2-ブテン又はブタジエンの気相塩素化より得られるジクロルブテン混合物から2-ブテン-1・4-ジオールを製造するにあたり, ナトリウム, カリウム, カルシウムなどの水に可溶性のギ酸塩を用いて水の存在下に反応せしめることを特徴とする2-ブテン-1・4-ジオールの製造法。
4	1256428 '72.4.5 (大槻 進, 宮之原 勲)	1256428 '71.12.8	24561/69 '69.5.14	Stabilization of Acrylic Acid or Esters thereof	米特許 №1 に同じ。

№	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
5	1257371 '72. 4.12 (大槻 進, 宮之原 勲)	1257371 '71.12.15	24560/69 '69. 5.14	Process for Esterifying Acrylic Acid	アクリル酸とメチル或いはエチルアルコールよりアクリル酸メチル或いはエチルエステルを製造するに際し, 蒸留塔を用い, 塔上部よりアクリル酸と, 塔上部よりアルコールを供給し, 連続的に反応と同時に蒸留を行わせ還流比を1以下に保つことにより生成該エステルと塔に供給された水及び生成水の大部分を塔頂より流出させ, 塔底より実質的にアクリル酸の存在しない状態で高沸点物質を排出させることを特徴とするアクリル酸エステルの製造方法。
6	1258713 '72. 4.26 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二, 高本 邦夫)	1258713 '71.12.30	3627/70 '70. 1.26	Polyvinyl Chloride Compositions	ポリエチレンの塩素化物, エチレン酢酸ビニル共重合体並びにエチレン酢酸ビニル共重合体の塩素化物の少なくとも1種に塩化ビニルをグラフト重合させるにあたり, メタクリル酸メチル重合体または/およびその重合体をあらかじめ塩化ビニルに溶解させておいてグラフト重合を行うことを特徴とする透明性および耐衝撃性にすぐれた塩化ビニルグラフト重合体の製造方法。
7	1260635 '72. 5.17 (迫村 寿男, 紀 隆之, 清水 明彦, 喜多 篤)	1260635 '71. 1.19	39098/70 '70. 8.13	Process for Producing Chloroprene Copolymer	米国特許 №5 に同じ。
8	1273910 '72. 9. 6 (迫村 寿男, 清水 明彦, 森 忠洋)	1273910 '72. 5.10	51040/70 '70.10.27	Recovering Acrylonitrile from Chloroprene Monomer	クロロプレンモノマー中のアクリロニトリルを塩化亜鉛濃厚溶液によって抽出回収する方法。
9	1277837 '72.10.11 (小野 勲, 柳原 忠久, 岡田 宏亮, 古賀 俊国, 加藤 喬雄)	1277837 '72. 6.14	46565 '70. 9.30	1, 4-Diacetoxy-2-butene from Butadiene	5~70% (容量) のブタジエン, 酸素および不活性ガスを含むガス混合物を酢酸パラジウムと, 酢酸第2銅よりなるレドックス系と, パラジウムおよび銅以外の重金属の酢酸塩および(または)アルカリ金属またはアルカリ土類金属の酢酸塩を含有する液体酢酸と接触させ, 反応を100~140°C ならびに常圧またはそれ以上の圧力下で行うことを特徴とする1・4-ジアセトキシ-2-ブテンの製造法。
10	1285799 '72.12.11 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 藤田 宣宏, 新原 英雄)	1285799 '72. 8.16	12913/70 '70. 3.18	A Method of Preparing a High Impact Strength Vinyl Chloride Polymer	米国特許 №7 に同じ。

<仏 国 特 許> 13 件

1	69-30613 '72. 1.31 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二, 高本 邦夫)	2023779 '70. 8.21	69-30613 '69.11.18	Procédé de Production de Polymers Greffés de Chlorure de Vinyle et Nouveaux Produits Ainsi Obtenus	エチレン成分82重量%以上からなるエチレン-酢酸ビニル共重合体または/およびエチレン-アクリル酸エステル共重合体を塩素化して得られる塩素含有量30~40重量%の塩素化共重合体に塩化ビニル単量体をグラフト重合させ, 塩素化共重合体5~15重量%を含むグラフト重合体を得ることを特徴とする塩化ビニルグラフト重合体の製造方法。
2	71-24820 '72. 2.21 (真淵 俊介, 木佐木 尚)	71-24820 '71. 7. 7		Procédé d'isomérisation d'esters allyliques d'acides carboxyliques	液相でアリル位カルボン酸エステルを異性化するにあたり, 触媒として白金の塩素化合物を用いることを特徴とするアリル位カルボン酸エステルの異性体相互間の異性化方法。

№	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
3	71-28076 '72. 3. 6 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二)		71-28076 '71. 7. 30	Procédé de preparation d'un polymère du styrène a haute resistance au choc	10~40重量%の酢酸ビニルを含み, メルトインデックスが 30 g/10 min.以下のエチレン-酢酸ビニル共重合体の共存下, ラジカル重合開始剤を用いて, スチレン, アクリロニトリルを水を媒体とする懸濁液で共重合し, 上記エチレン-酢酸ビニル共重合体が得られる重合体の21~30重量%を占めていることを特徴とする耐衝撃性合成樹脂の製造方法。
4	69-43222 '72. 3. 27 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 秋元 明)	2026177 '70. 9. 10	69-43222 '69.12.12	Procédé pour la polymerisation de composés vinylique utilisant comme catalyseurs des composés alkylques du bore	英国特許 № 2 に同じ。
5	69-29607 '72. 5. 15 (大槻 進, 宮之原 勲)		69-29607 '69. 8. 29	Procédé d'Esterification d'Acide Acrylique	英国特許 № 5 に同じ。
6	69-29606 '72. 5. 15 (大槻 進, 宮之原 勲)		69-29606 '69. 8. 29	Procédé de Stabilisation d'Acide Acrylique ou de ses Esters	米国特許 № 1 に同じ。
7	71-42535 '72. 6. 12 (小坂勇次郎, 植村 勝, 藤木 時男, 佐古 秀典)		71-42535 '71.11.26	Composition auto-adhésive	酢酸ビニルを重量で30部ないし70部を含み, メルトインデックスが 40ないし 500のエチレン-酢酸ビニル共重合体30部ないし70部, 粘着付与剤と粘度低下および感圧性付与剤を両者あわせて, 70部ないし30部の混合物からなる常態で感圧性の粘着組成物。
8	70-28789 '71. 4. 19 (木佐木 尚, 堤 幸弘, 竹重 浩佑, 真淵 俊介)	2056589	70-28789 '70. 8. 4	Procédé de Preparation du 2-butène-1, 4-diformate et produit ainsi obtenu	ジハロブテン類にギ酸塩を反応せしめることを特徴とする2-ブテン-1・4-ジフォーマイトの製造法。
9	72-6890 '72. 9. 18 (山田 静夫, 佐々木博朗, 田中 哲夫)		72-6890 '72. 2. 29	Procédé de Production de 2-Nitrocycloalcanones	シクロアルケンを二酸化窒素および酸素と反応させ, 該反応生成物をジメチルスルホキシドおよび/またはジメチルホルムアミドと接触させることを特徴とする2-ニトロシクロアルカノンの製造法。
10	70-29921 '71. 4. 26 (木佐木 尚, 真淵 俊介, 水野 敏勝)		70-29921 '70. 8. 13	Procédé pour Concentrer les Solutions Aquous de Tetrahydrofurane	米国特許 № 8 に同じ。
11	69-20987 '72.10. 9 (迫村 寿男, 木佐木 尚, 真淵 俊介, 堤 幸弘, 多田 孝)		69-20987 '69. 6. 23	Procédé de Preparation de 2-Butene-1, 4-diol a Partir de Dichlorobutens (et Nouveau Produit ainsi obtenu)	1・4-ジクロロ-2-ブテン又はブタジエンの気相塩素化より得られるシクロブテン混合物から2-ブテン-1・4-ジオールを製造するにあたり, ナトリウム, カリウム, カルシウムなどの水に可溶性のギ酸塩を用いて水の存在下に反応せしめることを特徴とする2-ブテン-1・4-ジオールの製造法。
12	70-2848 '72.11. 6 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤 光高, 鈴木 祐二, 高本 邦夫)		70-2848 '70. 1. 27	Polymère graffe de chlore de vinyle et son procédé de preparation	英国特許 № 6 に同じ。
13	7009741 '72.11. 6 (迫村 寿男, 吉田 敏郎, 藤田 宣宏, 新原 英雄)		7009741 '70. 3. 18	Méthod de preparation d'un polymère de chlore de vinyle de grande résistance aux chocs	米国特許 № 7 に同じ。